

各地での説明会の様子

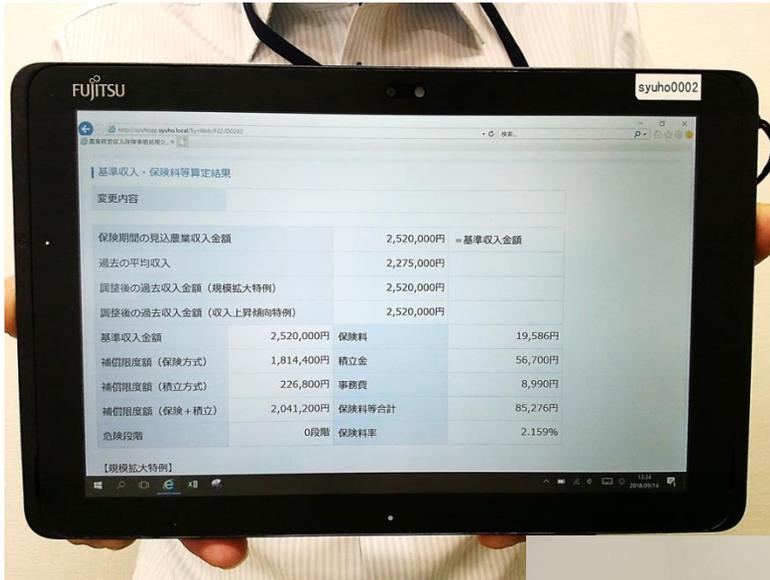
収入保険の説明会は、4月から8月まで、全国で7,500回以上（うち山口県内で223回）開催し、多くの農業者の方や関係機関の方にご来場いただいています。

加入意向のある方には、説明会とは別に戸別で訪問し、より詳しい説明を行っています。



タブレットを活用した手続の様子

収入保険の加入手続はタブレットで進めることができます。
収入保険の補償のタイプや保険料などのシミュレーションのほか、農業共済やナラシ対策などとの比較を行うことができ、1人1人の加入者に合わせた補償を選択できるようにしています。



基本収入・保険料等算定結果			
変更内容			
保険期間の見込農業収入金額	2,520,000円	= 基本収入金額	
過去の平均収入	2,275,000円		
調整後の過去収入金額 (規模拡大特例)	2,520,000円		
調整後の過去収入金額 (収入上昇補償特例)	2,520,000円		
基本収入金額	2,520,000円	保険料	19,586円
補償限度額 (保険方式)	1,814,400円	積立金	56,700円
補償限度額 (積立方式)	226,800円	事務費	8,990円
補償限度額 (保険+積立)	2,041,200円	保険料等合計	85,276円
危険段階	0段階	保険料率	2.159%

【規模拡大特例】



収入保険への加入意向者の声

収入保険に加入したいという方からの声をご紹介します。

(稲作経営者)

- 米以外の作物も含めて全体がカバーされるから安心。
- 農業も生産だけでなく、加工、販売など多様化していて、現行の農業共済やナラシ対策では対応できないリスクも生じている。
- 収入保険は、自分の売上が基準になるから、単価が高いブランド米の生産、販売も安心。
- 病気やけがで従業員が作業できない期間があったんだけど、その影響による売上の減少が心配。

など

(野菜経営者)

- 近年は、台風のほか、高温障害など、異常気象で天候が読めないから、災害に備えたい。
- 野菜価格安定対策制度は、価格が下がっても、出荷できなければ補てんされんけど、収入保険では補てんされるから安心。
- 野菜価格安定対策制度の対象外の品目もカバーされるので安心。

など

(果樹経営者)

- 収入保険は、果樹共済よりも掛金が安く、補償も充実している。価格低下にも備えられるので安心。
- 直売をしており、取引先の代金の未払が心配。
- 災害による売上減で、従業員の給与が支払えなくなるのが心配。
- 観光農園の経営でも加入できるのは魅力的だ。

など

(花き経営者)

- 普段は適正な病虫害防除を行っているけれど、新種の害虫などにより栽培管理で打撃を受けてしまった場合も安心。
- 関係機関の指導を受けながら安定生産を目指してはいるものの、市場価格が低迷する時期が生じて販売収入が安定しないことがある。

など